

防災カードゲーム「私が来たからもう大丈夫！2」

宮崎県立門川高等学校

地域防災班

キーワード

防災カードゲーム、自助共助公助、率先避難者、図上訓練、地理教育

新作登場



新要素の内容①

高齢者編

高齢化が進み、地域によっては多くの高齢者が暮らす場所もある。高齢者特有の課題に着目し、幅広い年齢での防災意識向上を目指す。



①頭痛
高齢者は、頭痛が起きた際に、適切な対処が難しく、重症化するリスクがある。



①寝たきり
寝たきり状態になると、避難行動が難しく、適切な支援が必要となる。



①食、水の確保が難しい
災害発生時には、食料や水の確保が難しくなる。



①食生活が不安定
災害発生時には、食生活が不安定になり、栄養不足や食中毒のリスクがある。



①認知症対策
認知症高齢者は、災害発生時に適切な判断ができず、適切な支援が必要となる。



①災害情報の入手
災害発生時には、災害情報の入手が難しくなる。

新要素

・高齢者施設編

・地震津波編を追加

詳細な災害シミュレーション
図上訓練がもっと面白くなる

新要素の内容② 図上訓練もより面白く楽しく

図上訓練する際に、このカードはどこで発生しそうな問題だろうかという問とともに、実際に起こりうるであろう災害について想像しやすくなる。前回は物質がどこにあるだろうかだけだったのを今回は問題カードでも実施できるように、想定されるトラブルや問題をお題にした。

①避難所となっている避難所ではどのような問題が起こるだろうか？
避難してきた高齢者の問題
災害の書き方がわからない人など

②小学校でアラムが作り習字を習う方が不安定にしている、どう対処すべきだろうか？
③地震発生と津波の危険性がある場所はどこだろうか？地図中に書かれているように

カードゲームで楽しみだけでなく、図上訓練もより面白く楽しくできる。



今後の計画

1 カードゲームで防災力向上

2025年度も多くの小中学校でカードゲームを用いた防災活動を行う。図上訓練ができる小学生を育て、地図を読める中学生をつくり、高校で専門的に学ぶ流れを作っていきたい。また今年度はPTA向けの講習会や、教員向けの公開授業も決まっており、多くの人から意見をもらい次回作につなげたい。



2 新しい要素の追加（研究・開発）

昨年多くのメディアにも取り上げられ、多くの人に実践してもらった。その中で高齢者の視点を増やしてほしい、災害一つに焦点を当てたものを作してほしいなどの意見をいただいた。その意見をもとに続編を作成し、より本格的な防災を学べるようにした。さらに図上訓練をより面白くするためのモードも追加し、より実践的な地図教育を行えるようにもしている。



3 ふるさと納税で門川から全国へ

現在クラウドファンディングで300個印刷し、近隣の小学校へ配布している。多くの問い合わせもあり、増刷を検討している中、門川町（宮崎県）のふるさと納税の返礼品として取り扱うという話もあり、現在計画中である。全国へこのカードゲームを届け、門川町だけでなく、全国の防災力向上を目指していきたい。

